

慶應義塾創立150周年記念未来先導基金 三田の家

企画 mita/no/ie@send/aida

(カルチュラルタイフーン仙台ワークショップ)

企画概要

カルチュラルタイフーンとは文化研究を主題とするトランスナショナルな学会で、2003年度より毎年開催され、今年は仙台市せんだいメディアテークで6月28日、29日に行われます。今回のテーマは「空／間」です。そこで、三田の家が様々な境界を越えるオルタナティブな空間であることのプロモーションと、身体と外界の境界を越えるTシャツペイントのワークショップをおもに岡原研究会のメンバーによって行います。学部学生が国際学会に参加する機会として、そして学生たちの表現活動として、学術活動の新たな形式の模索として本企画は位置づけられます。

ワークショップ「mita/no/ie@send/aida」開催概要

主催 三田の家、文学部岡原研究会

会場 せんだいメディアテーク (宮城県仙台市)

日程 2008年6月28日(土)、29日(日)

内容 カルチュラルタイフーン仙台大会に展示パフォーマンス部門として参加します(<http://www.cultural-typhoon.org/hp/j-workshop/index.html>)。三田の家の紹介宣伝活動を行う一方で、来場者に向けてフリーペイントのワークショップを行います。無地のTシャツ(三田の家のロゴマークを小さくプリントいれてあります)にアクリル絵具で自由に描いてもらう、別名「感情Tシャツ」ワークショップです。この一連の作業フローを大枠にして、岡原研究会のメンバーが個別に臨機応変に企画を実現させていきます。

対象 カルチュラルタイフーン来場者、岡原研究会メンバー

担当者 岡原正幸(文学部)

予算 34000円(学生の大会参加費(2000円/人)、岡原の大会参加費4000円)

